

マイワシの資源変動のモニタリング

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-06-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 石田, 実 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2006833

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



マイワシの資源変動のモニタリング

黒潮研究部

協力機関：都道府県研究機関

研究の背景・目的

- 1．マイワシの漁獲量は 400 万トン台から数万トンに減少した
- 2．マイワシ資源はなぜ減少したのか、また、将来増えるのか？
- 3．マイワシ資源を回復させるためには、どのように漁獲すれば良いか？

研究成果

- 1．近年、0 歳と 1 歳の未成年での漁獲が多く、2 歳以上の親魚が減少している
- 2．親魚の減少により、産卵量も減少し、早急な資源の回復は望めない
- 3．一定量の親魚を確保することにより資源を回復させることが必要

波及効果

- 1．漁獲可能量(TAC)制度の科学的根拠として生物学的許容漁獲量(ABC)を提案
- 2．低い資源水準にあるマイワシの資源管理の手法の開発
- 3．今後、産卵量調査を継続してマイワシの資源変動をモニターすることが必要

